

2008.9.11

流通科学大学 サービス産業学部

こうべ・せとうち学(仮称) の概要

～ 国土交通省・神戸運輸監理部 / 流通科学大学 連携事業 ～

目的

「こうべ・せとうち学(仮称)」の目的は観光を学ぶ学生に対して、多彩な視点から地域を見ることを習慣付け、観光を柔軟に、幅広く認識する感覚を養うことを意図するところにあります。

観光教育の講座や教材は経営・商学、地域文化、環境・景観、開発・政策など様々な視点、分野で既に用意されていますが、これに加えて具体的なフィールドを対象に重層的に観察することによって、さらに効果的な実学教育を提供することができることに着目しました。

そのためには、定型的な枠を越えたカリキュラム・教材づくりが必要であるとのことから、この企画がなされました。

講座の開設

本学部観光・生活文化事業学科では2009年に「特別講義 / 地域研究」を開講予定です。この科目は一年生を対象に、神戸及び瀬戸内地域の観光を実学として学ぶもので、本カリキュラムと教材を適用することとしております。

対象領域

この事業に取り組む両機関が存在する神戸、及び神戸と海を通じて繋がる瀬戸内地域全体を対象とします。したがって、テーマによっては神戸にとどまる場合もあり、また瀬戸内全体を俯瞰する場合もあります。

オリジナルテキストの作成

『観光客として興味を引くもの』というコンセプトのもとに自由な観点で地域に目を向けることとしました。具体的には、食・町歩き・万葉の世界・酒と土産・墳墓・流通・映画の舞台・港と海運・地場産業・観光政策・観光資源などです。

執筆者

神戸運輸監理部の行政官と流通科学大学の教員(13～14名)を基本としています。またテーマによっては複数教員による共同執筆もあります。

刊行期日

本書は2009年3月頃の刊行を予定しております。さらに、この教材をベースとして2009年夏頃を目処に書籍として発刊することを計画しており、課外講座や公開講座などで、今後は社会・地域住民の皆様にご貢献していくことも考えています。

以上